

小川村の防災訓練に参加しました

9月1日に小川村全地区において行われた防災訓練に参加しました。
当日は村民の約半数が参加し、区ごとに避難訓練を行った後、地区別訓練として夏和区、小根山町区で土尻川砂防事務所職員が自主避難の重要性や、地区防災マップの必要性について説明しました。
「地区防災マップ」とは、既存のハザードマップをベースに、土砂災害等の危険箇所の情報や避難経路、災害の予兆現象などを追加したものです。
地域独自の避難体制づくりに役立てるため、順次、地区防災マップが作成されるように支援してまいります。



避難訓練の様子



動画での説明

インターンシップの現場研修を行いました

8月27日に信州大学、関東学院大学から3年生のインターンシップ生2名を招き、地すべり対策を行った長野市篠ノ井茶臼山と、急傾斜地崩壊対策を施工中の長野市中条西峯の2箇所で現場研修を行いました。

茶臼山では老朽化した施設の維持管理の大切さを、西峯では、がけ地と小学校に挟まれた狭い場所で施工する大変さを、それぞれ理解していただいたようでした。

お二人には、8月29日に薬師沢石張水路工（小川村）で行われた草刈りにも参加していただき、地元の方々と一緒に汗を流してもらいました。



茶臼山の現場研修



薬師沢では施設の見学も

「防災の日 2019 ラジオの力 ～先人の知恵に学ぶ～」の取材がありました

9月1日の「防災の日」に合わせて、FM長野、SBCラジオ、FMぜんこうじの3局が、毎年特別番組を共同制作しています。

今年は、先人の残した教訓から、防災・減災へのヒントを探るとして、8月21日に「薬師沢石張水路工」（小川村）で、FMぜんこうじの砂防惣代へのインタビュー取材がありました。

砂防惣代は、明治18年（1885年）から、水路工の管理や周辺の整備に携わっている、地域の代表者による制度であり、「防災の日」当日は、土地を地すべりから守るために組織された砂防惣代制度や、明治の先人達の苦勞、伝承されている地すべり災害の様子などについて放送されました。



砂防惣代へのインタビュー



雨の中、石張水路を見学

薬師沢石張水路工の草刈り（第2回）が行われました

8月29日（木）に「薬師沢石張水路工」（小川村）の恒例の草刈りが行われました。今年度の2回目です。

時折り小雨が降る中での草刈りとなりましたが、猛暑も一時癒え、地元の皆さん、砂防ボランティア、工事関係者、行政関係者などが一日汗を流しました。午前9時頃開始、昼食休憩を挟んで午後4時頃終了しました。

当日は、長野県土尻川治水砂防協会から、タオルと飲み物配付の支援がありました。



開始前の説明



黙々と草を刈りました

発行 長野県土尻川砂防事務所

〒381-3163 長野県長野市七二会己973-1

電話 026-229-2511 FAX 026-229-1024 E-mail dojirisabo@pref.nagano.lg.jp

<http://www.pref.nagano.lg.jp/dojirisabo/index.html>